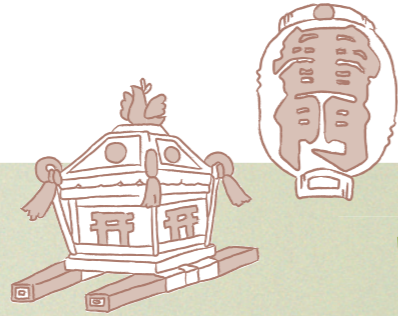


職員インタビュー

私の推しゴト01



伝統工芸の素晴らしさを未来へ繋いでいくために

大学卒業後にシステム会社に就職しましたが、仕事の内容やワークライフバランスにギャップを感じて転職を考え始めていた時に、台東区で働いていた知人から仕事や職場環境について話を聞き、区職員の仕事に興味を持ちました。コロナ禍の影響で生まれ育った浅草の活気が失われ、商売をしている親戚や友人の生家が苦境に陥っていたこともあり、自分が生まれ育った地域の発展に貢献したいと思ったことが入区を決めた動機です。

入区後は産業振興課に配属され、「江戸たいとう伝統工芸館」の管理、各種イベントの企画・開催、宮城県や福島県の姉妹・友好都市で行われる職人による出張実演などにより、台東区の伝統工芸の魅力を区内外に発信する業務を担当しています。台東区は全国有数の伝統工芸の集積地ですが、一方で後継者不足や需要の低迷など、さまざまな課題を抱えているのも事実です。職人の方々や関係団体と解決の道を模索していますが、まずは伝統工芸を一人でも多くの人に知ってもらうことが大切だと考えています。私が提案して今年の夏に初めて開催した「夏休みの伝統工芸教室」では、参加した小学生と職人さんが笑顔で交流する姿に、伝統工芸を地域の若い世代に根付かせていく大切さを実感しました。優しい上司や先輩に支えられ、若手でも裁量を持って力を発揮できる環境の中で、台東区が誇る伝統工芸の価値を伝える仕事にやりがいを感じています。



推しゴトのとある1日

- 8:30 始業、メールチェック
- 10:00-12:00 江戸たいとう伝統工芸館で団体向け実演対応
- 12:00 昼食 
- 13:00-15:00 事務処理 (資料作成や庶務など)
- 15:00-17:00 関係団体との打ち合わせ 
- 17:15 終業

【一般事務】
文化産業観光部
産業振興課
久保田さん
(令和5年度入区)

私の推しを紹介

学生時代の推しは？

旅行が大好きで、沖縄、四国からフランス、イギリス、カナダなど国内外を旅しました。中でも一番のお気に入りはベトナムです。休暇を利用して再訪したいと思っています。

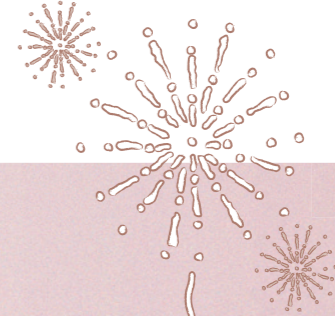
台東区の推しポイントは？

台東区では多くのお祭りが行われますが、私の推しは小さい頃から毎年楽しみだった三社祭です。三社祭の間は街が多くの人であふれて、活気に満ちた雰囲気心が躍ります。



職員インタビュー

私の推しゴト02



人を思いやる温かな風土が子供たちを支える力になる

子ども家庭支援センターの課長として、職員のマネジメントを担当しています。私はもともと教師を目指していましたが、自治体職員の方がさまざまな領域で子供と関われることを知り、区役所職員を志しました。台東区を選んだのは、よく両親に連れられて来た思い出深い場所だからです。さらに、23区の合同説明会で台東区の人事の方が「試験まで身体に気をつけて頑張ってください」という言葉をかけてくださり、職員や区民の方を思いやる温かな風土があることを確信して入区を決めました。

私が課長を務める子ども家庭支援センターの主な役割は、地域に密着した機関として子育てをはじめ家庭の課題や悩みに専門的なサポートを提供することです。保健師・保育士・心理士などさまざまな専門職が、児童相談所などと連携して、支援にあたっています。私自身は管理職のため、直接区民の方々と接する機会は減ってしまいましたが、私たちの仕事は区民の生活・福祉の向上に直結しています。課のメンバーや他部署、外部機関などと連携して子供たちの課題解決に貢献できた時に、大きなやりがいと喜びを実感しています。DX部門の経験を生かしてタブレットを導入し、感覚に頼らずデータや統計に基づいた現状把握を徹底するなど、業務の改革も進めています。これからも現場の職員が区民のサポートに力を集中して、若手が成長を実現できる環境づくりに注力していきます。



推しゴトのとある1日

- 8:30 始業、メールチェック、本日の業務確認
- 9:00 朝ミーティング後、書類の決裁
- 10:00-12:00 他部署との会議出席 
- 12:00 昼食 
- 13:00-15:00 資料の確認
- 15:00-17:00 子ども家庭支援センター内の会議出席
- 17:15 終業

【一般事務】
区民部
子ども家庭支援センター長
田畑さん
(平成18年度入区)

私の推しを紹介

台東区の推しポイントは？

台東区は歴史と伝統が集積している一方で、多種多様な文化を受け入れる柔軟な土壌があり、さらなる地域の発展が期待できる「伸びしろ」が大きな魅力になっていると思います。

